



交通安全だより

第26号 平成19年8月発行 札幌市交通安全運動推進委員会 Tel.211-2268

札幌市の交通安全 <http://www.city.sapporo.jp/kotsuanzen/>

交通安全

セーフティさっぽろ

「夏の交通安全市民総ぐるみ運動」

ご協力ありがとうございました！

7/18(水)～27(金)



(7/24 北区 自転車啓発の様子)

【運動期間中の市内死亡事故発生状況】

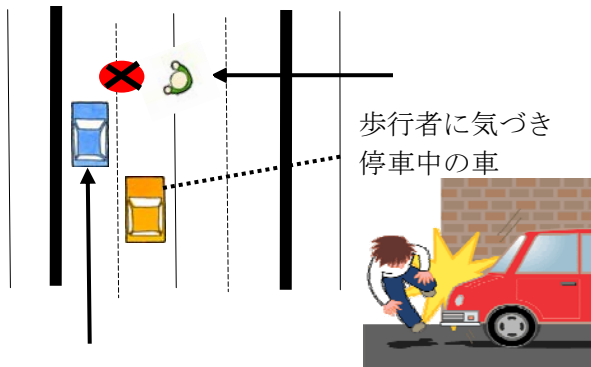
運動期間中における交通死亡事故は3件3人でした。(前年運動期間と比較して+3)

運動期間終了後も、変わらず交通事故の防止に努めていただきますよう、よろしくお願いいたします。

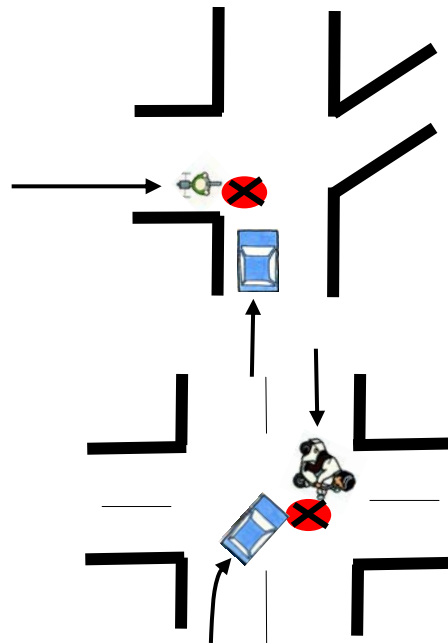


7/21 (土)【白石区】 車×人
道路を横断していた歩行者(82歳男性)が、乗用車にはねられ、頭を強く打って死亡。

7/26 (木)【豊平区】 車×人(補助輪付き自転車)
補助輪付き自転車に乗っていた保育園児(4歳男性)が、乗用車にはねられ、頭を強く打って死亡。



7/26 (木)【北区】 車×オートバイ
道路を直進していたオートバイ運転者(18歳男性)が、右折する乗用車に衝突され、死亡。



■過去5年間における運動期間中と年間の死者数

	H19	H18	H17	H16	H15
夏の運動期間中死者数	3	0	1	1	3
年間の死者数		42	40	52	56

デイ・ライト運動実施中 昼間のライト点灯にご協力を！

除外

(1) 負傷、疾病、傷害または妊娠中のため、シフトを

～8月の死亡事故特徴～

H13年～H18年までの過去5年間の8月の事故状況を分析



<事故の傾向>

- 信号機や横断歩道のない道路を横断中の高齢者が被害者となる事例が多い(43.3%)。
- スピードの出し過ぎや前方不注意などによる衝突・はみだしといった事故が多い(26.7%)。

<時間別>

- 深夜～早朝の時間の事故発生が多い(53.3%)。

<被害者年齢別>

- 計30人中70歳以上の高齢者と20歳代が7人(23.3%)と一番被害が多い。
70歳以上は道路横断中の事故(85.7%)が多く、20歳代は自動車乗車中の事故(85.7%)が多い。

交通事故防止2つのテーマ

～ゆとりある内面・目立つ外見～

<歩行者の方は>



・道路の横断、急がば回れ!!

(横断歩道や信号機が少し離れた場所にあったとしても、少し回り道をしてその場所まで移動してゆとりを持って横断しましょう!)

・明るい服装・夜光反射材!!

(夜間には、明るい服装や夜光反射材などを身につけ、自分の存在を目立たせることでドライバーにアピールしましょう!)

<運転者の方は>



・スピードダウンと早めの休憩!!

(行楽期にともない車での外出が増えることが予想されます。焦らずゆとりを持ったスピードと、長時間運転する際は、早めの休憩をとるようにしましょう!)

・デイライト!!

(ライトは夜だけのものではありません。昼間からライトを点灯することで、自分の存在を目立たせると共に、他の運転者や歩行者等にも交通安全を呼びかける効果が得られます!)

万が一の事故に備えシートベルトを着用しましょう!